



## 筑波大学メールマガジン“ペデじゃーなる” 2015年2月-冬号

—OB・OGと学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

### INDEX

#### 1. つくばエキスポセンター

— 科学を感じる、つくばの観光地。つくばエキスポセンターについてご紹介

#### 2. 花のある日々 ～フラワーセラピーのすすめ～

— 花のある景色はいかがですか？今回は花のリラクゼーション効果についてご紹介します！！

#### 3. ツクバネコスナップ

— ツクバネコスナップ：つくばに住む私たちの小さな隣人、ツクバネコ。

今回は恋する猫のスナップです。

#### 4. 大気像

ー 硬派なコラム。

#### 5. さよなら筑波大学、さよなら学生宿舎

ー 4年間宿舎に住み続け、その酸いも甘いも噛み分けたとある学生による思い出話。

## 1 つくばエキスポセンター



このペデジャーなるは、筑波大学のOB・OGの方々に筑波に対する懐かしみを感じてもらうことを目標の1つとしています。… …その目標が達成され、懐かしみをもってご家族やご友人とつくばに来て貰えたとして、つくばのどこを観光するのでしょうか。今回はそんなときに役に立つ、つくばの観光名所を1つ紹介したいと思います。



施設の名前は「つくばエキスポセンター」(写真は施設外観)。つくば駅から続く公園通りに面しており、近くにはつくば美術館や中央公園もあります。この施設は、1985年に開催された国際科学技術博覧会、通称「科学万博—つくば'85」を機に作られた

建物を、科学万博を記念する恒久施設としたものです。

ですが、このつくばエキスポセンターの魅力は科学万博の紹介に留まりません。常設展示として、科学やエネルギーについて分かりやすく体験して学習できる展示物が豊富に取り揃えられており、学生の春・夏休み期間に合わせて、科

学や物理の魅力を体験することができる特別展示も行われています。

そして、つくばエキスポセンターの一番の魅力はプラネタリウムです。最新鋭の機器を使って投影される夜空は、実際に見上げる以上に魅力的なものだと言っても過言ではありません。プラネタリウムのプログラムも子ども向けの番組から大人も満足する番組まで取り揃えています。ちなみに、私がこの記事を書くにあたって視聴したのは「ブラックホール～銀河中心にひそむ謎～」と題されたプログラムであり、ブラックホールの成り立ちやその性質について、詳しくかつ分かりやすく紹介されており、非常に満足する内容でした。『事象の地平線』なんて、どこか心躍る言葉も知ることができました。

こんな魅力が詰まったこのつくばエキスポセンターは、さながらつくば版の「科学技術館」といった所でしょうか。土日・祝日は国土地理院や筑波宇宙センター(JAXA)など、他のつくばの科学名所を回るサイエンスツアーバスも運行されており、一挙につくばを巡ることができます。つくばを訪れた際にはぜひ一度、足を運んでみてはいかがでしょうか？

・参考

つくばエキスポセンターHP <http://www.expocenter.or.jp/>

サイエンスツアーオフィス HP <http://www.i-step.org/tour/index.shtml>

(情報学群知識情報・図書館学類 3 年 伊藤 洸紀)



皆さんこんにちは、お元気ですか？

2015 年も 1 か月が過ぎました。2 月に入ってそろそろバレンタインデーといったところでしょうか。

大学では、4 年生が卒業まであと 1 か月！ ということで後輩は追いコンや卒業記念品の準備をするなど、試験そっこの  
けで動き回っています。

あれ？私達だけですかね？？

ところで、年が明けて 1 か月経ちましたが、早速疲れてしまってはいませんか？

結局、日々の仕事や山積みで心のゆとりがなくなっている。年末の自分に逆戻り！なんてことになっていないでしょうか。

今回はそんな方に「フラワーセラピー」をご紹介します！

家に「花」はありますか？

鉢植えでも、切り花でも皆さんの周りに花はあるでしょうか？

「フラワーセラピー」というのは生の花に触れることで、脳がアルファ波を多く出すという原理から生まれた方法です。このアルファ波というのはゆったりとリラックスしている状態の時に出る脳波のことで、多く出されれば心身の不調を改善することができるのだとか。

フラワーセラピーは人の五感に効くとされていて花の色や形、香り、肌触り、味にリラクゼーション効果がみられるそうです。

赤い花はパワーアップや心身の強壮作用、ピンクの花なら女性にとって若返りや幸福感を与えてくれます。逆に青や紫

などの寒色系の花は意識を鎮め集中力を高め、気分を爽やかにします。

白い花は心の浄化を促してくれるみたいです。

花は枯れてしまうからもったいない。そう思っはいませんか？

冬のあいだはなかなか枯れませんし、きちんと水を代えてお手入れすれば何週間も持つこともあります。

私も部屋に飾ってあるカーネーションは生けてからついに3週目に突入しました！！

花は語りませんが、ふと見ると「お疲れ様、今日も見てたよ」って言ってくれてる気がします。

皆さんもぜひ、一輪いかがですか？

(人文・文化学群人文学類2年 太田 ありか)

## 3 ツクバネコスナップ



### 【第四回】恋するネコ

今回のツクバネコとの出会いは追越共用棟から追越宿舎へと続く道沿いに行きました。その日私は授業が早く終わり、いつもよりのんびりと次の目的地へ自転車を走らせていました。ゆっくりと走る道の途中では、普段は気付かない様々な新しい発見をすることができます。ここの木は前までもう少し葉が茂っていたはずだけれど。こんな所工事していたかなあ。あっ、ここの自動販売機の中身が変わっている。いつもは急いで駆け抜けるこの同じ道にも、ささやかな変化が日々訪れているんだな、とそんなことを思います。

ふと顔を横へ向けると何やら白い生き物が草むらからこちらを覗いています。どうやらツクバネコのようなようです。自転車を止めて近づいてみることにしました。ネコというのは、草木の様子や自動販売機の中身といったような日々の景色のささやかな変化とはまた一味ちがう、なにか非日常的な魅力をもって私たちに訴えかけてくるようです。



それは白い毛並の綺麗な人懐っこいネコでした。のど元あたりを撫でてあげると気持ちよさそうな表情を浮かべてきゅるきゅると鳴きます。なんだか今日はやけにネコ受けがいいな、どうしたんだと少し照れくさくなりながら顔をあげると目の前にあったのは女子宿舎。なるほど、おそらくこの宿舎の住人からかわいがられ慣れていたのでしょう。そうかそうかこの表情は私にだけ見せるというわけではないのだな、というネコにとってみれば半ば迷惑なジェラシーを発しながら撫で続けていると、なにやら別の方向から似たようなジェラシーの念を感じます。

なんともう一匹のネコがこちらを覗いているではありませんか。連載史上初の複数ネコとの同時遭遇です。もう一匹の

ネコは私のほうに近づいてきたかと思うと、なんと私が撫でているネコと私の間に割り込み、もといたネコを私から奪うようにじゃれつき始めました。どうやら恋人同士のネコだったようです。そうかそうか、それはしごくまっとうなジェラシーであるなど変な納得をしたのち、二匹の邪魔をしてはいけないと退散することに。私は最後にもう一撫でだけ、と手を伸ばしたのですがあいにく彼氏ネコから穏やかではないにらみをきかせられ、そそくさと逃げるようにその場をあとにしました。彼氏さんすみませんでした。



思えばつくばの地で学生生活を始めてからもう二年が過ぎようとしています。生活の背景となる自然や建物のささやかな変化もあれば、これからの自分自身の行く末を左右する大きな決断を伴う変化もあります。三年生としていよいよ折り返しに入る大学生活、おそらく後者の変化を求められる機会が増えてくるような気がします。あわただしい毎日のなかでもささやかな変化を見つけられるだけの心の余裕を持っていたい、とそんな風に思うのでした。

## 4 大 気 像



年末年始に帰省した時、母にスーツを買ってもらった。「やっとあんたの子育ても終わりねー」。試着を済ませた私に母が漏らした言葉に、思わず目頭が熱くなった。急に母が遠くなった気がした。

単身赴任の父に家を任せられ、女手一つで私と弟を育てた「九州の肝っ玉母ちゃん」だ。私が些細なことで落ち込むと、「いちいちことで落ち込まんでよか」と励ましてくれた。家事も仕事もテキパキこなし、エステにメイクと自分磨きも欠かさない。「目指すは『美魔女』よ」。笑う母は美しかった。

それでも目元の小じわは隠せない。隣に立てば、染め損なった白髪が見え隠れ。後ろ姿を見て、「母さん、こんなに小さかったっけ」と思うことが増えた。決して遠くない別れを意識してしまう。時の流れは、残酷だ。

「たはむれに 母を背負ひて そのあまり 軽きに泣きて 三步あゆまず」(石川啄木)。小さく、軽くなった母を守り、支えたい気持ちはある。しかし今は、母の軽さに胸が詰まって歩けない。「あんたに背負ってもらうほど、私はまだまだ老けてないわよ」。そんな声が聞こえてきそうだ。我ながら頼りない息子である。

来春から社会人になる。買ってもらったスーツを着こなし、胸を張って生きていく。そんな姿を見せることが、今の私が母にできる、精一杯の親孝行かもしれない。母を背負って力強く歩ける、立派な大人になりたい。



## 5 さよなら筑波大学、さよなら学生宿舎



今回は今年3月に大学を卒業する私にとって最後のペデジャーになります。そこで筑波大学で一番思い出の多い場所、4年間住んだ学生宿舎のお話をしたいと思います。

ではまず悲しかった思い出から。宿舎に住んでいて気になることといえばやっぱり友達のお部屋との格差ですよ（涙）。私も何度か仲の良い友人のアパート（私にとってはユートピア）にお邪魔する機会がありました。まずインターフォンを使ってオートロックを開けてもらい、エレベーターを使って最上階に。なんかハイテクで、そわそわしてしまいます。友達に部屋のドアを開けてもらおうと、そこには誰かと一緒に住んでいるんじゃないかと疑ってしまうほどの大きな空間が広がっていました。い、いいもん。私のところだってよくよく考えたら今流行りのオートロックってやつだしっ。キッチンとかトイレとか、ちょっぴりプライベートな場所まできれいにしてくれる清掃員の方だっていらっしやるのよお。おほほ…の…ほ…。

…さてと！ 気を取り直して今度は宿舎に住んで良かったな～という思い出。私、やっぱり宿舎に住むことの一番のメリットはお金を節約できることだと思うんです。入学した当初の私は最初の2年間が宿舎、後半2年間がアパート、という計画を立てていたのですが、次第にアメリカに行ってみたいという気持ちが強くなり、節約のために大学4年間宿舎に住むことを決意したのです。アメリカはお父さんとお母さんの馴れ初めの場所。小さい頃からよく話を聞いていて、私にとってはまさに憧れの地でした。アメリカ・サンフランシスコで過ごした1年間は私の大学生活の中で間違いなく一番の思い出です。これは本当に、筑波大学に格安で住める宿舎がなければ実現しなかったことだと思います。

最後になりますが、3年以上続けたベデジャーなるも、これにて卒業になります。飽きっぽい私が何かを最後までやり遂げられる確率は、今後筑波大学学生宿舎につやつやぴかぴかのエレベーターが設置される確率と同じくらい低いことなんです。これまで私の記事を読んでくださった方、本当にありがとうございました。最後の最後に、今回の記事のスペシャルサンクスはお父さんとお母さんでした☆(またすぐに帰省するよ！)

## ～宿舎のちょこっと思い出ギャラリー～



写真左：コインシャワー。消費税増税に伴い10分100円から9分100円に … …。

写真中央：洗濯スペースにて。うさぎさんがいろいろな気を利かせてお掃除してくれたようです！

写真右：共用キッチン。夜に明かりをぼちっとつけると2つの黒い影がカサカサと散らばっていったことがありました。ラ、ランデブー？！

(人文・文化学群日本語・日本文化学類4年 河原 一愛)



## 🍇 編集後記

今回のあとがきは、卒業スペシャルと言うことで、この冬号で卒業するメンバーのコメント掲載します。

○ 編集長の河原です。

みなさん、2015年はいかがお過ごしでしょうか？ 私は3月の引っ越しに向けて断捨離をしようかと思いつつ、つつい

こたつで和んでしまっております。さて、今回で私含め何人かのメンバーは卒業になります。

今までこのメルマガを受け取り、読んでくださった全ての方々、本当にありがとうございました。

もちろんペデジャーなるはこれからも続くので、期待しててください！ 私も元へっぽこ編集長として陰ながら応援して

いきたいと思います。

○ 「大気像」担当の原です。

筆者が大学を卒業するため、今回をもちまして、大気像を引退させていただきます。

次号からは別の学生が小欄を執筆する予定です。1年間お世話になりました。

拙い文章でしたが、ご愛読ありがとうございました。

今後とも大気像並びにペデジャーなるをよろしくお願い致します。

## 🍇 おしらせ

<「ペデぶろぐ」について>

ペデジャーなるのブログを開設しています。投稿内容は「ペデジャーなる」の配信に関するお知らせやミーティング風景などなど。「ペデジャーなる」をもっと身近に感じていただけたらと思います。また、ペデぶろぐには連絡フォームもごさいますので、気軽にご要望や感想も送信することができます。

「ペデジャーなる」とともに「ペデぶろぐ」もよろしく申し上げます。

<http://pedejournal.blogspot.jp/>

🍎 筑波大学 公式ホームページ: <http://www.tsukuba.ac.jp/>

🍎 筑波大学 facebook: <https://www.facebook.com/univ.tsukubaja>

🍎 筑波大学校友会 SNS「KUTTUK ba」: <https://alumni.tsukuba.ac.jp/>

(筑波大学校友会 SNS／筑波大学生涯メールアドレス 利用登録募集中!)

🍎 編集・発行:「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ

🍎 デザイン・配信作業: 国立大学法人筑波大学連携・渉外室

🍎 ご意見・問い合わせ先: 国立大学法人筑波大学 連携・渉外室

〒305-0821 茨城県つくば市春日 1-8-3 筑波大学春日プラザ 1 階

TEL:029-853-2030 FAX:029-853-6576

[gakuyu@un.tsukuba.ac.jp](mailto:gakuyu@un.tsukuba.ac.jp)

🍎 配信停止をご希望の方

下記メールアドレス宛に『配信停止希望』の旨明記し、送信してください。

[gakuyu@un.tsukuba.ac.jp](mailto:gakuyu@un.tsukuba.ac.jp)

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。

*Copyright © 2014 University of Tsukuba. All Rights Reserved.*